

開倫塾の経営の基本理念とは

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. 今週の月曜日、8月19日に関西生産性本部の方々が当塾に視察にいらっしゃいました。大学の学長や理事の方々を含めた40名ぐらいの教育関係者の皆さんを前にして、「開倫塾の経営」について4時間にわたってお話をさせていただきました。また、8月20日の火曜日には、栃木県宇都宮市の作新学院さんの裏あたりにあるJA栃木教育センターで、「これからのJAを担う中核人材育成研修会」の講師をさせていただきました。ここでも、開倫塾の経営について2時間半ほどお話をさせていただきました。そこで、今朝の「開倫塾の時間」では、2つのところでお話をしたことを皆さんにも少し紹介させていただきます。
3. 開倫塾は、2002年度に栃木県経営品質賞という非常に名誉ある賞をいただきました。経営の品質の向上を目指し、卓越した業績を目指しましょうということに取り組んでいます。なかなか難しく実現しませんが、目指すことだけは目指したいと考えています。
4. また、2009年には、経済産業省が主に主催している「ハイサービス日本300選」で、サービス産業の中の学習塾として表彰されました。そのようなこともあって、視察に来られる方がいらっしゃったり、お話をさせていただく機会があったりします。
5. 開倫塾の特色は、社会的な使命(ミッション)を塾生や皆様の「成功の実現」に置いていることです。それから、「正常に機能する社会の形成」を目標にしていることです。学力が上がりますと、人生の選択肢が増えます。多様な選択肢のある人生の実現に貢献したいということで、「成功の実現」を目指しています。また、学力が上がりますと、地域の教育力が向上します。そうすると、社会が正常に機能することになります。ですから、この2つの社会的な使命に基づいて経営をしています。学習塾でも、例えば「成功の実現」であるとか「正常に機能する社会の形成」であるとかを社会的な使命として自分たちで認識し、よく自覚をしながらやっていますので、どうか大学の経営をなさる方々もJAの方々もそのようなことをやってくださいということをお願いした次第です。
6. 開倫塾は、「日本経営品質賞」という非常に取り組みがいのある賞に基づいて経営のことを考え、経営の基本理念として「顧客本位」、「独自能力」、「社員重視」、「社会との調和」という4つの価値観を持って経営をさせていただいています。それがうまくできているかどうかはなかなか難しいところですが、目標を持ってやっています。そのことを紹介させていただきました。
7. 「顧客本位」とは何かといいますと、多くの方が聞いたことがあると思いますが、顧客価値の創

造といえますか、開倫塾の場合には顧客の成功の実現を大事なものと考えています。つまり、「顧客価値の創造」、「顧客の成功の実現」を通じて多様な選択肢のある人生を歩んでもらいたいということを「顧客本位」と考えています。では、顧客とは誰かというところ、これもとても難しいですが、顧客とは塾生・保護者・地域社会の方と考えて経営をさせていただいています。これも紹介させていただきました。

8. 「独自能力」とは、絶えざるイノベーションによって顧客にとっての価値の創造をすることが大事だということです。いろいろなことを考えるときに、ベストプラクティスといえますか、世の中で行われていることの中で非常に素晴らしいことを素直な心で学んでから考えましょうということをやっています。開倫塾には校舎が 64 もあり、その中にはものすごくよい成果を出しているところもありますので、社内のベストプラクティスを勉強する。また、同業他社、ほかの学習塾の中にも素晴らしいところがたくさんありますので、そこから素晴らしいところを素直な心で勉強させていただく。それから、異業種、ほかの業種からもたくさんの方の勉強させていただく。それら 3 つをうまく組み合わせながら、自分たちでものごとを考えるときの参考にしたい、これを「独自能力」と呼んでいます。

9. 「社員重視」もとても大事なことです。できれば雇用の維持と働く条件の改善、仕事をしながらの自己実現ができればよいと思います。そして、もっともっと大事なことは、社員が自らの手で自らの潜在可能性を発見し、自らの手で育てる企業を目指したいということです。そのために、いろいろな取り組みをしています。例えば、85 歳過ぎまで働ける職場、一度辞めた方でも自由に出入りができるような会社をつくりたいと思っています。

10. 「社会との調和」で一番大事なことは、法令を守ることです。そのほかには、当たり前のことですが、男女差別をしない・年齢の差別をしない・出身による差別をしないこともやりたいと思っています。このようなことをお話させていただきました。

11. 以上のようなことを目標にして経営をしていますが、行動目標としては、「教え方日本一」になりたい、生徒さんにたくさん来ていただき、塾生数が北関東一になるような塾にしたいということもお話させていただきました。

12. 最後に、経営方針として、「学びに値する塾」、「働くに値する職場」をつくりたいというお話をいたしました。会社は放っておきますと、なかなかうまくいきません。極端な言い方をすると「企業は原則倒産」と言われていますので、倒産しない会社づくりを心に置いて経営をしています。

13. このようなことを、今週の月曜日に開倫塾に来られた関西生産性本部の大学の経営者をはじめとする 40 名の方々に、また、火曜日には JA 栃木教育センターで行われた研修会でこれからの JA を担う中堅の方々に話をさせていただきました。

14. 言うのは簡単ですが、実行するのは本当に難しいことです。難しいテーマではありますが、せっかくの機会を与えられましたので、非常に拙い話ですが、今週は開倫塾の経営について話をさせていただきました。皆さんの勤めている会社、活躍している職場にも経営についての課題がいろいろあると思いますので、是非参考にさせていただければと思います。